

20170921 在京／地区青少年奉仕全体会議 議事録

日 時： 2017年9月21日（木曜日） 15:00～17:00

場 所： 新宿「AP西新宿」

参加者： ロータリアン、76名（在京各クラブ青少年奉仕担当、及び、地区役員委員）

目 次：

1. 開会挨拶
2. 地区青少年奉仕委員会
3. 地区インタラクティブ委員会
4. 地区ロータリークラブ委員会
5. 地区青少年交換委員会
6. 地区職場体験・インターンシップ委員会
7. クラブより報告
 - ①東京江戸川ロータリークラブ
 - ②東京紀尾井町ロータリークラブ
8. 質疑応答
9. 講評
10. 閉会挨拶



1. 開会挨拶

大西太一郎地区青少年奉仕委員長：

地区青少年奉仕委員長の太西です。お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。ご来賓の紹介です。吉田ガバナーは急遽所用とのことで、代理として本多地区幹事に出席いただいています。本日の全体会議の趣旨は、青少年奉仕部門の各委員長から活動内容の説明をしていただきます。また、クラブの青少年奉仕について、東京江戸川ロータリークラブ、東京紀尾井町ロータリークラブから活動を紹介していただきます。ご出席のみなさまに、クラブに本日の内容を持ち帰っていただき、クラブの青少年奉仕のご参考にしていただければと存じます。それでは、本日よろしくお願ひします。

ガバナー代理／本多良美地区幹事：

青少年の育成、サポートはロータリーの大きな価値です。地区、ロータリークラブの青少年奉仕委員のみなさまには、たいへんな努力をしていただいています。土日も含めて、時間的な拘束もあることと存じます。感謝を申し上げます。本日、在京の青少年奉仕委員長が集まりました。本年度の現状についてコンセンサスを得ていただければと存じます。充実した会となり、さらに、充実した青少年奉仕活動となることを望みます。それでは、よろしくお願ひします。

2. 地区青少年奉仕委員会

大西太一郎地区青少年奉仕委員長：

本年度事業計画の説明を行います。資料をご覧ください。まずは、青少年奉仕ガイドブックです。こちらには、前年度のクラブと地区の活動報告が凝縮されています。すでに各クラブへご提供済みです。とはいえ、本日、初めてご覧になる方もいらっしゃるでしょう。この全体会議の後、ゆっくりお読みいただければと存じます。ついで、青少年奉仕情報です。隔月で発行しています。本日は第24号を配布しました（一昨日、第25号を発行しています）。こちらは直近での青少年奉仕活動をまとめています。旬な情報を知ることができ、お役に立つことと存じます。さらに、青少年奉仕アンケート。こちらは前年度のもので、各クラブの状況を一览することができます。本年度も11月になりましたら青少年奉仕アンケートを実施します。各クラブの青少年奉仕委員長におかれましては、よろしく申し上げます。以上、地区青少年奉仕委員会の発行物を紹介しました。地区青少年奉仕委員会は具体的な活動をしません。クラブの青少年奉仕活動が円滑となるようにサポートするのが役割です。つまり、潤滑油です。そのために、情報の共有を行っています。



2010年規程審議会にて、第五奉仕部門として新世代奉仕が成立しました。2013年規程審議会にて名称変更があり、青少年奉仕となりました。最近、ようやく定着しつつあります。当地区では、青少年交換だけでなく、インターアクト、ローターアクト、職場体験インターンシップも活性化しています。青少年、一所懸命にがんばって、盛り上がっています。先日、インターアクター、ローターアクター、ROTEXとの意見交換を行いました。彼らは青少年奉仕部門の横のつながりを持ちたいと言っています。これが、いわゆる「クロス・プロモーション」です。セクターをまたいでの活動の促進です。たとえば、ローターアクターの活動に、インターアクター、ROTEXがまざっていただくことが考えられます。これも一つのやり方です。本年度、敷居をまたいで、より広く、若者の活躍の場の提供を、ロータリアンにさせていただきたいと考えています。また、青少年奉仕情報にて、最新の情報を知ることができます。役に立つはずですが、これから青少年奉仕活動どうしようかと悩まれている方におかれては、本日の全体会議の情報とともに、青少年奉仕情報から知って欲しいです。青少年奉仕情報には、青少年奉仕活動のご案内も掲載しています。青少年と接する機会とすることもできます。青少年はロータリアンとの交流を求めています。ロータリアンをお手本と考えています。ただし、機会の関係で、ちょっと接しづらくなっています。ぜひ、青少年奉仕の現場に足を運んでいただき、密に接していただきたいです。諸々ご検討しつつ、各クラブにて青少年奉仕活動を進めていただきたいです。

地区青少年奉仕委員会の行事をご説明します。毎年度地区大会の1日目（国際ロータリー会長晩餐会の裏番組）に、ロータリーファミリーパーティを開催しています。これは、ローターアクターのほか、米山奨学生（OBOG含む）、ロータリー財団奨学生（OBOG含む）、平和フェローも参加します。しかし、本年度、地区大会1日目の開催は難しい状況です。新しい取り組みを検討中です。決まりましたら、ご連絡を差し上げます。来年4月8日（日曜日）午後、在京・地区青少年奉仕包括成果発表会を開

催します。インターアクター、ローターアクター、青少年交換プログラムの来日学生・派遣予定学生、ROTEXが参加します。各セクターから活動報告とともに、ロータリアンをまじえてのグループ・ディスカッションを行います。こちら、ご案内を差し上げますので、ご参加をよろしくお願いいたします。

この後、青少年奉仕部門の各委員会からご説明があります。ぜひご参考にしていただきたいです。繰り返します。青少年奉仕ガイドブック、青少年奉仕情報、お戻りになりましたら、クラブにて共有をよろしくお願いいたします。そして、青少年奉仕を拡げていただければと存じます。

3. 地区インターアクト委員会

鈴木祥太地区インターアクト委員長：

現在、当地区のインターアクトクラブは、在京6校、沖縄分区5校です。本年3月（前年度）、首里高等学校インターアクトクラブが会員数減少から解散しました。提唱クラブである那覇ロータリークラブは、那覇高等学校インターアクトクラブに注力することでしょう（那覇ロータリークラブは那覇高等学校インターアクトクラブも提唱しています）。地区インターアクト委員会の本年度基本方針です。①地区行事へのロータリアンの参加推奨（インターアクト年次大会、中華学校春節祭、）



地区青少年奉仕包括成果発表会)。②地区青少年奉仕委員会内での連携。インターアクトから卒業すると関係が切れてしまっていました。他の委員会と相談して、合同活動の機会をつくりたいです。インターアクトの卒業後、ローターアクトになってもらいたいです。また、ROTEXとも協同してほしいです。③インターアクトクラブの広報。校内の活動のため、外部から見えづらくなっています。インターアクトの活動を広報していきたいです。

8月6日（日曜日）、インターアクト年次大会の報告です。関東第一高等学校にて開催しました。テーマは、「今～いま未来につなぐ可能性～」です。ホスト校は関東第一高等学校インターアクトクラブです。提唱クラブである東京江戸川ロータリークラブにサポートいただきました。第2580地区のインターアクターにとり、東京北部と沖縄分区の交流のための貴重な機会になっています。8月6日の午前中は各インターアクトクラブから活動報告が行われました。午後は、関東第一高等学校の渋谷校長の講演の後、分科討論会が行われました。テーマは政治不信、テロ、女性差別、死刑制度など大人でもむずかしいものです。しかし、インターアクターにより白熱した討論が行われました。また、いままでと異なる試みとして（東京江戸川ロータリークラブにより）、高等学校のホールにて、江戸川区内の伝統工芸者による工芸品のブースが出展されました。インターアクターが職人技を間近に見て、体験することもできました。翌日は、東京ディズニーランドにて交流を行いました。次年度のインターアクト年次大会は昭和薬科大学附属高等学校インターアクトクラブがホストを務めます。沖縄分区にて開催ですが、ぜひご参加いただきたいです。後日ご案内を差し上げますので、登録をよろしくお願いいたします。

インターアクト年次大会以外の、地区インターアクト委員会の行事を説明します。11月、在京地区合同活動を開催します（1回目。ホスト校は潤徳女子高等学校インターアクトクラブ）。来年1月、東京中華学校の春節祭へ参加します。2月、在京地区合同活動を開催します（2回目。北豊島女子高等学校インターアクトクラブ）。また、インターアクト卒業生への表彰式も開催します。この表彰式については、インターアクトから、ローターアクト、ROTEXとの協同の提案をいただいています。合同活動を検討しています。6月、リーダーズキャンプ（研修合宿）について開催する方向で検討しています。提唱ロータリークラブのみなさまには感謝を申し上げます。これからも変わらぬご指導をよろしく申し上げます。ありがとうございました。

4. 地区ローターアクト委員会

大野利美知地区ローターアクト委員長：

ローターアクトは18歳～30歳にて構成されています。ローターアクトクラブは、地域社会または大学を基盤としています。目的は、青年男女が個々の能力開発のために役立つ知識やスキルを身に付け、各地域社会の物質的、社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間に、より良い信頼関係を築く機会を提供することです。目標は次のとおりです。①専門能力と指導力の開発、②他人の権利を尊重する観念を養う、③地域社会をはじめ世界各地のニーズと懸念事項に取り組む、④提唱ロータリークラブと協力して活動にあたる、⑤将来にロータリーの会員となるようにすることです。



当地区には15クラブがあります。近年、クラブ数が増えています（7～8年前からすると倍増）。私が所属します東京上野ロータリークラブも提唱準備を進めています。ご案内の青少年奉仕アンケートを読みますと、提唱検討クラブは10ほどあります。ローターアクトクラブの拡大により大きな活動につながっています。ローターアクトが活動を自主的に決めています。活動に偏りが生じたときに、修正をするのが、提唱クラブや地区ローターアクト委員会の役割です。ローターアクトは大人ですので、自分たちで決めて欲しいです。ローターアクトも地区を形成しています。地区ローターアクトの年間スケジュールは次のとおりです。8月、気仙沼にて研修合宿を行いました。ローターアクトも、ロータリークラブと組織構成は同じようなものですが、異なる点もあります。たとえば、地区ローターアクト代表の選出です。やりたい人が手を挙げてもらい、立候補者が複数いる場合は代表選になります。10月、代表選挙の演説会を行い（前年度、出席しましたが、候補者同士がローターアクトへの想いととも、実行したいこと、改善したいことを発表しており、とても面白いです）、11月、代表選挙を行います。2月、合同海外研修会を予定しています。6月、ローターアクト年次大会を開催します。これらの行事に、地区ローターアクト委員はできるだけ参加し、見守っています。あまり過激な活動にならないようにで

す。繰り返しますが、当地区のローターアクトは、クラブ数、会員数が増加しています。地区ローターアクト委員会として嬉しいところです。そして、ローターアクトはロータリアンが見守っていれば自主的に活動してくれます。このように認識していただければと思うところです。

5. 地区青少年交換委員会

吉田宏雄地区青少年交換委員長：

本日配布しました年間計画表に沿ってご説明します。8月、来日学生10名の出迎えを行いました。本年度は、アメリカ、カナダ、タイ、チェコなどからとなります。彼らとは逆に日本の高校生10名が海外に派遣されました。この派遣学生は第53期になります。東所沢のコロンビア・インターナショナル・スクール（ロータリアンが理事長です）にて、サマーキャンプを開催しました。日本語研修のために、10日間の合宿を行います。また、合宿の途中から派遣予定学生も参加します。研修だけだと飽きますので、アトラクションも組



みます。高尾山にピクニックに行ったり、BBQ、寿司パーティを行いました。9月、帰国報告会を開催します。また、裏千家の茶道のお稽古も始まります。日本文化の習得を目的とします。とても厳しいお稽古です。月2回、来年6月まで続きます。12月、派遣国決定の行事とクリスマス・パーティを行います。3月・4月、ジャパントアラーを開催します。10日間のバスツアーです。前年度は、名古屋、伊勢神宮、神戸、姫路、鳥取砂丘、広島、奈良、京都を回りました。広島では、来日学生と派遣予定学生とで、平和ディスカッションを行います。6月、帰国前報告会を開催します。このころになると、来日学生は日本に慣れ親しんでいます。涙ながらのスピーチとなります。それぞれの行事は、ROTEXのサポートがないと成り立ちません。毎年度、同じスケジュールを組んでいます。しかし、近年のSNSの発展にて新しい課題が生じています。たとえば、Facebookにプライバシー的な内容を投稿してしまうなどSNSにて来日学生の生活が見えてしまうことがあります。地区青少年交換委員会として気を遣うところです。

（青少年交換プログラムのダイジェスト動画を映写）サマーキャンプ。高尾山へピクニックに行きました。食堂にて「いただきます」を教えました。派遣国の発表では地区青少年交換委員からの激励もありました。茶道。今日庵という由緒のある道場です。ジャパントアラーは地区青少年交換委員も同行します。企画はROTEXです。平和ディスカッション。グループごとにディスカッションの内容を発表します。帰国前発表会。感極まって泣いてしまう来日学生もいます。日本語、上達しました。そして、帰国となります。見送りです。

青少年交換プログラムではROTEXの役割が大きいです。地区青少年交換委員会は見守る立場です。大きな課題としては、ホストファミリーの確保です。青少年交換プログラムは各クラブのご協力がない

と成り立ちません。これからもよろしくお願いいたします。

6. 地区職場体験・インターンシップ委員会

市河久和地区職場体験・インターンシップ委員長：

地区職場体験インターンシップ委員会は、各クラブにて卓話をぜひさせていただきたいと考えているところです。また、青少年奉仕ガイドブックに原稿を掲載しています。ご覧いただきたいです。当地区の職場体験インターンシップは東京都との協定に基づく事業です。ですので、公共イメージの向上につながります。また、職業奉仕を実現できる事業でもあります。青少年の教育を行う主体は学校、家庭、社会です。この中でも社会教育が重要です。ロータリアンによる職場体験



インターンシップはまさにこれに当たります。ロータリアンだからこそできる奉仕です。短期間で中学生・高校生にインパクトを与えることができます。真剣に対応することで、良い影響を与えることができます。現在、各クラブへ職場体験インターンシップ受入れの事業所登録推進等のアナウンスをしています（登録いただいた事業所の情報を第2580地区のサイトに掲載しています。受入れの申込は電話ではなく、FAXが事業所に届く仕組みになっています）。未回答の場合は、回答をよろしくお願いいたします。この回答書をもとに、地区職場体験インターンシップ委員会が対応します。職場体験インターンシップをしている方、されていた方は挙手していただけますでしょうか？サイトに登録はしている方は挙手していただけますでしょうか？。ありがとうございます。このように挙手していただいただけでも、サイトに登録していないけど、職場体験インターンシップを受け入れている方の多いことがわかります。もちろん、職場体験インターンシップの受入れは登録がなくてもできます。しかし、東京都からの表彰など公共イメージの向上のためにも、サイトの登録数をアピールしたいと考えています。ぜひ、サイトへの登録をよろしくお願いいたします。クラブによっては登録のないところもあります。そういうクラブからご参加の委員長におかれましては、ぜひクラブ内で初めての登録者になっていただきたいです。このように地区職場体験インターンシップ委員会は、サイトへの登録の推進と情報の提供に重点を置いています。今後は、クラブと地区職場体験インターンシップ委員会にて、相互に情報交換することが必要と考えています。たとえば、サイトに登録したけど、受入れの申込みがなかったなどのご意見をいただくためです。11月実施予定の青少年奉仕アンケートにも職場体験インターンシップの質問がございます。こちらもよろしくお願いいたします。

加古博昭様（東京池袋ロータリークラブ）：

この10年来、私の会社では、職場体験とインターンシップを受け入れてきました。工事現場の無線機や建設機械を遠隔操作する機械などを取り扱っています。受入れの経緯は、所属している法人会との共同事業からです。中学生の受入れからスタートしました。当初は税務教育をしていました。会社への受入れを始めてみて気付きがあります。会社の事業概要や商取引の説明を中学生にわかりやすく説明する必要があります。たとえば、掛売りのことを丁寧に説明します。約束手形を見てもらったりします。

男子中学生は、機械の出荷をしてもらいます。女子中学生は、事務作業です。学校によって受け入れ期間が異なります。最近では2～3日が多くなっています。事業所が受入れてメリットは何でしょうか？。社員の研修になります。中学生に仕事を教えるのは難しいことです。自身が仕事をしっかり理解していないとできません。社員からは受入れて苦労しているという感想をもらっています。プレッシャーにもなっているようです。だからこそ、社員研修としての意味があります。最近の中学生のイメージは、真面目で、挨拶もちゃんとで



きる感じです。とはいえ、中学生にとり仕事は縁遠いものです。手取り足取りしないと理解できません。第2580地区のサイトに登録していることから、高校生も受入れています。小石川、赤羽商業、第4商業からです。来月、都立新島高校から女子1名を受け入れます。先日、担当の先生に会社まで訪問いただきました。離島の高校生ですので、1週間、東京に滞在となります。そのうちの2日間をインターンシップにあてます。このほか、電車の乗り方などのレクチャーを行うそうです。法人会から中学生を年間平均4～5校受け入れています。受入れて良かったことは、達成感です。受け入れた生徒の父母からの手紙をいただくことがあります。あるお母さんからは、「中学生ですので、当初、事務作業のイメージができませんでした。かなり不安だったようです。しかし、受け入れていただいて、不安はすぐに消え、楽しく取り込むことができました。お忙しい中、たいへん感謝申し上げます」というお手紙をいただきました。苦労のし甲斐がありました。中学校、高校では、受入れ事業所探しにたいへん苦労されています。ロータリアン、また、そのご友人にぜひご協力をいただきたいです。

市河久和地区職場体験・インターンシップ委員長：

東京本郷ロータリークラブは、文京区教育委員会と連携し、中学生の職場体験を受入れ、さらに職場体験報告会を行っています。地域の教育現場、子どもたちともつながる素晴らしい取り組みです。職場体験インターンシップの受入れは、インターアクトやローターアクトのように提唱しなくても、できます。ぜひ、よろしく申し上げます。

7. クラブより報告

①東京江戸川ロータリークラブ、小林司様：

まず、高校生のための就職ガイダンス（講師派遣）についてです。派遣したのは、当方が事務局を務める、江戸川区にある病院です。病床数250、月に500台の救急車を受入れています。病院のほか、特別養護老人ホーム、訪問看護などを経営しています。この病院の看護師を関東第一高等学校へ派遣しました。看護師としての仕事についてガイダンスを行っていただきました。看護師の役割や作業などの説明をしました。この派遣のきっかけは、看護師の仕事について興味を持つ高校生と出会ったことからです。関東第一高等学校の生徒でした。当クラブでインターアクトクラブを提唱していますので、先生にご相談したところ、ぜひにてご依頼をいただきました。本年2月15日、このガイダンスを開催しまし

た、男子11名、女子30名が参加しました。看護師は、今後ますます需要が伸びる、日本に必要な仕事です。このガイダンスの際に、病院への職場体験をお誘いし、実施することになりました。8月7日、8日の2日間、職場体験を実施しました。看護師希望12名、医師希望3名、理学療法士希望1名など19名の生徒が参加しました。まずは、手洗いから実習です。黴菌がどのぐらい残っているかを体験してもらいました。ついで、院内の見学です。看護師の仕事の体験として、生徒同士、血圧を測り合いました。また、患者さんの手足を洗う体験もしました。このほか、薬剤師、レントゲン技師の仕事にも触れてもらいました。さらに、病院食の体験もしました。生徒からのアンケートによると、「病院での仕事を実感できた」、「患者さんの心に寄り添える看護師になりたい」などの感想でした。病院としても実施した甲斐がありました。

②東京紀尾井町ロータリークラブ、原田尚彦様：

ロータリークラブに入会して、数年です。日々、勉強をしております。当クラブでは、青少年奉仕の活動方針を策定しています。高い理念を掲げていますが、抽象的でもあります。これをいかに具体化するかを青少年奉仕委員会として託されています。当クラブは地域の小学生による「人権メッセージ大会」に参加しています。区民センターにて開催されています。小学生が「いじめ」、「障害者」、「両親」、「お年寄り」をテーマに、3分間スピーチを行います。「LGBTへの差別」についてのスピーチには驚きました。今の小学生はしっかりしています。また、「人権標語コンテスト」へも参加しています。10月に募集を始めます。この旨をクリアファイルに印刷して、配布しています。高校生インターンシップの案内と協力要請も行っています。ゴルフスクールを経営するロータリアンがおり、受け入れてくださっています。メリットは社員への教育になることです。青少年交換留学生については、今後の受入れのために準備をしているところです。東京紀尾井町ロータリークラブは25周年を迎えます。麴町小学校に歌手を呼んで、童謡を一緒に歌うことを企画しています。青少年奉仕委員会と社会奉仕委員会、国際奉仕委員会との連携も進めています。9月7日、神楽坂のベトナム料理店に集いまして、意見交換会を開催しました。青少年奉仕の現場に出ると、行すべきことが見えてきます。青少年奉仕は、子どもたちに会って、お話を聴くことからです。

8. 質疑応答

Q. 多摩分区のクラブ：

当分区では会員減少が顕著です。次世代の会員として、若者と接触をすべきと考えています。インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ提唱の段取りについて教えていただけますか？

A. 平井憲太郎地区青少年奉仕委員：

インターアクトは12～18歳で構成されています。学校を拠点とするだけでなく、ロータリークラブが地域で集めることもできます。しかし、日本では学校を拠点とすることになるでしょう。とすると、学校に対して、インターアクトクラブ提唱の諾否についてアナウンスすることからでしょう。可能性はあると思います。ローターアクトクラブはインターアクトの受け皿でもあります。ロータリアンの経営する会社にいる20代社員の教育の場として効果的です。当地区には既に15クラブがあります。ローターアクト同士の交流も盛んです。創立当初のローターアクトクラブについては、他のローターアクトクラブの先輩ローターアクターがサポートしてくれます。会社では伝えきれないことを伝えてくれるこ

ともあります。あるいは、大学を拠点とするローターアクトクラブもあります。当地区ですと、東京小平ロータリークラブの提唱する嘉悦大学ローターアクトクラブです。大学のクラブ活動という位置付けです。毎年、新入生が入ってきます。いろいろな可能性がありますので、ぜひチャレンジしていただければと思います。

A. 田中伸彦地区青少年奉仕副委員長：

地区青少年奉仕委員となり、ローターアクターと関わるが多くなりました。ただし、多摩分区にはローターアクトクラブがありません。私案ですが、多摩分区の6クラブ合同でローターアクトクラブを提唱できればと考えています。近日開催される、多摩分区の連絡会で相談したいとかがえています。

9. 講評

本多良美地区幹事：

講評ではなく感想としてお話しさせていただきます。私自身、青少年奉仕関連の知識は乏しいです。本日の全体会議にて、青少年奉仕としてこういうことやっているとお大分理解することができました。今後とも、クラブ、地区の青少年奉仕の情報を発信、展開して欲しいです。本日欠席された吉田ガバナー、松坂ガバナーエレクトには、この後、私から伝えておきます。私が所属します東京新都心ロータリークラブにて、インターアクト、ローターアクトなどの卓話がありました。その時、活動を理解することができました。青少年からの卓話は重要です。私は大学生の時に1年間留学していました。これにより人生に大きな影響を及ぼすことができました。青少年交換プログラムは価値ある活動をされています。職場体験インターンシップについて、加古さんの10年間受入れを継続しているお話により理解することができました。青少年奉仕としての広報活動はとても大事です。本日は、ガバナー、ガバナーエレクトだけでなく、ガバナー補佐や、各クラブの会長、幹事にもご参加いただきたい内容でした。クラブ及び地区の青少年奉仕活動を充実した1年にしていただければと思います。

10. 閉会挨拶

大西太一郎地区青少年奉仕委員長：

本年度、青少年奉仕の広報に力を入れています。本日ご参加のみなさま、ぜひクラブへ持ち帰って、情報の共有をしていただければと存じます。

以上